

平成29年3月

保護者・生徒の皆様

大阪府立みどり清朋高校  
校長 岡田 憲玄

### 学校教育自己診断アンケート結果について

早春の候、保護者の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は本校の教育活動にご理解、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

平成28年12月に学校教育自己診断を実施しましたところ、多数のご回答をいただきありがとうございました。

この学校教育自己診断は、本校の教育活動の成果を検証するとともに、生徒の実態や保護者・地域の方々のニーズに対応できているかを点検し、今後の教育改善のための方策を明らかにするために実施するものです。

今年度は昨年度と同様、生徒27項目、保護者26項目、教員28項目で実施し、その集計結果と分析及び今後の改善の方向性についてご報告します。

【実施日】平成28年12月

【回答率】生徒100%、保護者69%

【回答欄】各項目につき、生徒は、

①よくあてはまる、②ややあてはまる、③あまりあてはまらない、④全あてはまらない、の4区分で、保護者は、

①よくあてはまる、②ややあてはまる、③あまりあてはまらない、④全あてはまらない、⑤わからないの5区分で判断してもらう方式

※肯定的意見の割合とは①と②を合わせた割合を言います。

#### ● 集 計

全体としては、昨年に比べ、生徒編ではやや評価が下がり、保護者編ではやや評価が上がりました。学校の様々な取組について生徒への浸透は停滞し、保護者には学校の教育活動の実態が徐々に伝わりつつあると考えられます。授業を中心とする教育活動の改善と保護者への情報提供等により工夫が必要であると思います。

今後、個々の分析を踏まえ、一層の改善に向け努力してまいります。詳細は以下のとおりです。

#### (1) アンケート結果

①生徒編結果一覧（肯定的意見の割合）・・・P3以降に掲載しています

②保護者結果一覧（肯定的意見の割合）・・・P3以降に掲載しています

#### (2) 分析

##### 【全体】

○昨年に比べ、生徒編で肯定的評価が平均1P下がり、保護者編で平均2P上がった。全体的には学校の取組内容について、生徒の理解度を深めることが不足している面があるが、保護者への情報提供は少しずつ広がっていると思われる。

○保護者の回答率が一昨年から75%→57%→69%と変動するのは、家庭との日常連絡等が学年によって差異があると思われる、工夫の余地が大いにある。

○生徒の「学校に行くのが楽しい」、保護者の「子どもは学校に行くのを楽しみにしている」については、肯定的評価がここ数年順調に上がり、80%を超えている。

##### 【生徒編】

○昨年度に比べ、27項目中16項目で上昇している。ただ、「部活動に取り組んでいる」、「地域との交流する」、「本校の先生は協力し合っている」の3項目の評価が大きく下降したので、全体としては若干下降した。

「本校に入学してよかった」、「学校に行くのが楽しい」は4～5%上昇して、それぞれ85%前後となっている。

また、「授業で自分の考えをまとめたり、発表したりすることがよくある」の評価が停滞している。従来型の話聞く授業から生徒が主体的に考えて、表現する授業をどんどん展開する努力を継続していきたい。

#### ○顕著に上昇した項目

- ・「教え方に工夫している先生が多く、授業はわかりやすい」 62.2%→67.8%、5.6P 上昇  
今年度は、従来にも増して授業力改善の研修を行い、アクティブラーニング先進校視察も実施した成果が出てきていると思うが、普通科総合選択制特有の多彩な選択科目が少なくなる来年度以降は、一層の工夫が必要である。

#### ○肯定的意見の割合が低い項目

- ・「家庭での予習・復習など学習時間を確保している」 39.6%  
評価自体はまだまだ低い、ここ数年2～3Pずつ上昇している。各教科での宿題や小テストの工夫、今年度から実施した朝の学習小テスト等、学習時間を増やす取組を継続していきたい。最も基本となる学習への目的意識育成が大きな課題となっている。
- ・「学校のホームページをよく見る」 16.4%  
更新頻度を上げて、学校の様々な情報を掲載する必要がある。加えて、中学生やその保護者に興味を湧く内容を検討しなければならない。

#### ○学年別にみたときの項目毎の特徴

- ・「本校は特色ある教育活動に取り組んでいる」は、2、3年に比べて1年の評価が低い。1年のカリキュラムは他校と変わらないことが一因だと思うが、来年度以降、専門コースや一般系において、内容面での特色づくりが必要となる。
- ・「コンピュータ等のICT機器が授業などで活用されている」は、今年も1年が突出して高いが、2、3年も上昇傾向にある。1年が高いのは、情報の授業が1年全員にあることが原因かもしれない。
- ・「奨学金制度について十分説明し、その情報を知らせてくれる」についても3年が突出して高くなっている。進学時の各種奨学金の説明が評価されていると思われるが、下級生から理解させることが重要となってきている。
- ・「先生は生徒の意見をよく聞いてくれる」「担任以外にも悩みなど気軽に相談できる先生がいる」は、ともに学年が上がるにつれて評価が上昇する傾向にある。指導を受ける教員が増えることと、学校の指導に対する理解度が上がってくるのが要因ではないか。

#### 【保護者編】

- 回答率が大幅な増加（57%→69%）となった。3年の回答率が上昇したのが大きな原因だが、普段からの学校への関心の高さを表していると思われる。今後は、保護者との密な連絡等を心掛け、高い回答率で多くの意見を受けて改善に生かしたい。

昨年度に比べ、26項目中20項目で評価が上昇した。

#### ○上昇した項目

- ・「本校に入学させてよかった」 92.7%→92.9%、「生徒は本校に行くのを楽しみにしている」 86.3%→86.8%と微増となっており、全般を通した満足感はあるように思われる。
- ・「授業はわかりやすく内容に満足していると子どもから聞いている」が約8%上昇している。授業力向上への取組の成果が徐々に表れてきているが、今後とも授業に対する創意工夫を継続していかなければならない。
- ・「PTA活動は活発である」が約11%上昇している。PTA役員が保護者に伝わりつつあると思われる。

#### ○肯定的意見の割合が低い項目

- ・「子どもは家庭での予習・復習など学習時間を確保している」 40.9%  
生徒の結果と同様であり、学習時間を増やす様々な仕掛けを作るとともに、学習への目的意識育成が大きな課題となっている。
- ・「学校のホームページをよく見る」 37.9%  
昨年より1.9P 上昇しているが、まだまだ低い。日常の学年からの連絡に加えて、学校の様々な情報を掲載する必要がある。

#### ○気になる項目

- ・「家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている」「学校は教育情報について提供の努力をしている」は、若干の上昇がみられるが、肯定率は8割に届かないレベルであり、保護者への情報提供の工夫が今後の課題であることは変わらない。
- ・自由記述において、各分野で様々な意見が寄せられたが、体育大会、文化祭等の行事について評価する声が多く寄せられた。

## 今後に向けて

寄せられたご意見は真摯に受け止め、改善に向けて努力いたします。特に学校での活動を知っていただくよう、情報提供の工夫を凝らしていきたいと思っております。その情報提供で、ご家庭でのコミュニケーションの一助になればと念願しています。また、本アンケート項目についても改善に向けて検討してまいりますので、今後ともよろしくご協力をお願いします。

平成23年度～平成28年度 学校教育自己診断(生徒・保護者)項目及び肯定的回答率の比較(NO1)														
	生徒	生徒						保護者	保護者					
		H23	H24	H25	H26	H27	H28		H23	H24	H25	H26	H27	H28
学校満足度	1.みどり清朋高校に入学してよかったと思っている。	69.9	79.2	82.1	86.6	81.6	86.3	1.みどり清朋高校に子どもを入学させてよかったと思っている。	89.1	91.5	93.1	89.3	92.4	92.9
	2.学校に行くのが楽しい。	72.7	78.5	79.4	81.4	80.1	84.6	2.子どもはみどり清朋高校に行くのを楽しみにしている。	85.0	87.5	87.5	86.1	86.3	86.8
特色・エリア	3.みどり清朋高校には、(他の学校にない)特色ある教育活動に取り組んでいると思う。	55.5	57.5	63.8	69.9	64.0	59.9	3.みどり清朋高校には、他の学校にない特色ある教育活動に取り組んでいる。	64.4	73.4	73.6	72.5	75.6	66.9
	4.【(H28年～追加)コース(1年)】、エリア(2年～3年)や授業は自分の将来に役立つと思う。	65.7	71.4	76.4	73.7	71.0	70.8	4.コース(1年)【H28年～】、エリア(2年～3年)や授業は子どもの将来に役立つと思う。	78.1	88.2	83.7	82.6	84.3	81.5
	5.(生徒の興味・関心・適性)進路に応じて選べる選択科目がある。	65.4	76.0	77.9	83.9	78.6	79.6							
授業の内容改善・工夫	6.コンピュータ等のICT機器が授業などで活用されている		55.6	55.7	65.4	62.2	63.5							
								6.学校は放課後や長期休業中の補習・講習を十分に行っている。	64.4	67.9	64.2	65.5	58.0	63.5
	7.教え方に工夫をしている先生が多く、授業はわかりやすい。		55.7	63.0	67.6	62.2	67.8	5.授業はわかりやすく生徒の学力を伸ばすための工夫が感じられる。【H28年～授業はわかりやすく、内容に満足していると子どもから聞いている】	54.1	67.5	64.9	72.4	66.1	74.4
	8.授業で自分の考えをまとめたり、発表したりすることがよくある。	28.1	27.0	29.3	35.8	46.5	46.5							
授業外学習														
	9.学校は、放課後や長期休業中の補習・講習を十分に行っている。	52.2	57.3	60.5	69.5	65.9	63.6							
	10.家庭での予習・復習など学習時間を確保している		28.6	30.7	32.6	36.0	39.6	7.子どもは家庭での予習・復習など学習時間を確保している		41.5	38.7	39.3	38.3	40.9
生活指導	11.学校では生活規律や学習規律など基本的習慣の確立に力を入れている。	57.8	60.9	62.7	66.6	61.0	63.9	8.学校の生徒指導の方針は理解できる	73.1	74.3	70.3	74.4	74.4	76.8
	12.学校生活についての先生の指導は適切に行われている		69.0	73.9	76.1	69.7	67.8							
								9.学校の生徒指導の方針に従って家庭でも協力している。		81.7	74.0	77.4	77.4	78.3
進路指導・キャリア教育														
								10.学校は進路に関して家庭への連絡や適切な情報提供を行っている。	78.8	75.1	71.3	73	72.8	71.8
	13.学校の進路指導や【(H28年～追加)コース(1年)】、エリア(2年～3年)を選ぶガイダンスは適切に行われている。		71.0	74.9	80.2	72.3	73.9	11.学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。		76.6	73.2	79.2	76.5	72.7
	14.進学や就職など、進路実現に向けて適切な指導がある。	68.5	71.8	78.0	78.4	71.6	71.9							
	15.学校は奨学金制度について十分に説明し、その情報を知らせてくれる。	44.0	55.1	66.9	75.4	57.5	59.0	12.奨学金制度について十分な説明があり、気軽に相談できる。	53.4	60.3	61.6	68.7	64.8	70.8

平成23年度～平成28年度 学校教育自己診断(生徒・保護者)項目及び肯定的回答率の比較(NO2)															
生徒		H23	H24	H25	H26	H27	H28	保護者		H23	H24	H25	H26	H27	H28
人権教育	16.学校は、人権を尊重する意識を育てようとしている。	51.7	63.1	67.9	73.4	60.0	63.7								
	17.命を大切にす心や社会のルールを守る態度を学ぶ機会がある。	53.3	63.4	65.3	72.0	64.9	67.0	13.学校は、子どもに生命を大切にす心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。		77.3	73.7	78.5	75.6	80.7	
	18.クラスやクラブは一人ひとりが尊重され、気軽に話せるような集団である。	64.6	73.3	76.3	77.0	69.0	68.7	14.クラスやクラブは一人ひとりが尊重され、気軽に話せるような集団である【と子どもから聞いている。】	66.9	82.2	69.5	74.2	69.8	76.3	
教育相談	19.先生は生徒の意見をよく聞き、【(H28年～追加)相談に乗ってくれる】。		64.2	67.5	68.3	61.8	61.9	15.学校は保護者の相談に適切に応じしてくれる。	68.2	81.9	66.2	75.1	76.9	79.6	
	20.担任の先生以外にも保健室や相談室等で、悩みなどを気軽に相談することができる先生がいる。	39.1	50.6	50.5	57.9	54.8	54.7	16.先生はさまざまな問題を見逃さずに対応してくれ、生徒の相談に親身になって応じてくれると感じる。	58.1	77.3	58.5	72.3	69.1	71.5	
行事等	21.文化祭・体育大会、修学旅行などは楽しく行えるよう工夫されている。	67.4	71.6	73.4	78.1	72.4	73.3	17.体育大会・文化祭などの学校行事は、楽しく行えるよう工夫されていると思う。	74.4	84.1	82	85.1	83.2	85.5	
クラス活	22.ホームルームなどクラス活動は活発である。	53	63.5	68.3	74.8	64.6	65.7								
部活動	23.部活動に積極的に取り組んでいる	51.9	47.5	55.3	66.6	59.9	52.6	18.学校は部活動に積極的に取り組んでいると思う。	63.4	74.5	67.4	77.1	69.3	75.6	
地域交流	24.授業や部活動、学校行事などを通して、ほかの学校や幼稚園・保育園・支援学校・地域の人々などと交流することがある。	49.6	49.3	54.2	63.4	53.9	43.1	20.学校、生徒が幼稚園や保育園や他の学校と交流する機会を設けている。		73.7	57.7	60.1	56.0	52.9	
行事全般															
教職員組間で の意思疎通、															
	25.みどり清朋の先生はお互いに協力し【(H28年～追加)指導にあたっては合っている】合っている。	54.0	57.9	64.4	72.1	63.5	56.3								
PTA活動								19.PTA活動やPTA行事、交流などは活発である。	52.1	72.9	56.2	73.7	61.8	73.2	

平成23年度～平成28年度 学校教育自己診断(生徒・保護者)項目及び肯定的回答率の比較(NO3)														
		生徒						保護者						
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H23	H24	H25	H26	H27	H28	
施設・設								21.学校の施設・整備は、子どもにとって学習環境の面で満足できると感じている。	60.6	68.8	64.4	63.3	65.2	65.6
								22.学校は保護者が授業を参観する機会を多く設けている。	72.2	67.8	61.3	69.2	72.3	72.2
保護者との連携、 学校情報の発信、								23.学校は家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている	65.7	67.8	61.8	71.6	71.6	74.0
								24.学校や教員は教育情報について提供の努力をしている。		69.4	65.6	73.5	73.5	77.9
								25.学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。		54.5	55.3	66.5	61.4	65.6
	27.学校のホームページをよく見る		14.1	18.4	15.7	20.8	16.4	26.学校のホームページをよく見る。		23.6	25.9	33.7	36.0	37.9
清掃	26.教室や廊下などは清掃がいきとどき、授業をするのにふさわしい環境である。	48.1	49.8	54.9	63.4	54.3	54.5							